



『ユニバーサルデザインの視点による授業づくり』について考えてみましょう

「ユニバーサルデザイン」とはすべての人が利用しやすく、暮らしやすいように、ものづくりやまちづくり、環境づくりを行うという考え方です。この考え方を授業に取り入れるということは、「**クラスの中のすべての子どもにとってわかりやすい授業を行う**」ということです。授業のユニバーサルデザイン化については、以下のように言われています。

- 学力の優劣や、発達障害の有無にかかわらず、全員の子どもが、楽しく学び合い「わかる・できる」ように工夫・配慮された
通常学級における授業デザイン <筑波大学附属小学校 桂聖先生>
- 発達障害等の子どもには「ないと困る」支援であり、どの子どもにも「あると便利で・役に立つ」支援を増やす。
その結果として、全ての子どもたちの過ごしやすさと学びやすさが向上する。 <植草学園短期大学 佐藤慎二先生>
～授業のユニバーサルデザイン化 特別支援教育の視点からの授業づくり(福井県高校教育課)～より

「ユニバーサルデザイン」という言葉については、みなさんご存じですね。
ユニバーサルデザイン(以下UD)の視点を取り入れた授業作りで目指すことは、『全員が「わかる・できる」授業』です。
では、授業のUD化をするためにどのようなことを取り入れていますか。



レオ先生

例えば、活動時間をタイマーで示したり、発表の仕方のルールを決めたり、ペア活動を取り入れたりしていますが・・・これで良いのか自信がありません。
どのような取り組みがあるのか具体的に教えてください。

わかりました。
では、イメージしやすくするために、「**授業の組み立て**」「**授業の見通し**」「**板書・机間指導の工夫**」の3点から、考えてきましょう。



ありがとうございます。
授業をする時の大切なポイントですね。
ぜひ、詳しく教えてください。



- まず一つ目は、「授業の組み立て」です。
- ① 授業の**流れをルーティン化**する。
 - ② ねらいを達成するための**発問や活動を厳選**する。
 - ③ **導入はシンプル**にし、展開に十分時間を取る。
 - ④ 作業量は**モチベーションを保てる量**にする。
 - ⑤ ねらいに応じた学習形態の工夫をする。
(一斉指導・ペア学習・グループ活動)
 - ⑥ 活動の切り替えや授業展開に**メリハリ**をつける。

二つ目は、「授業の見通し」です。

- ① **チャイムと同時に始め、チャイムと同時に終わる**。
- ② **始めに授業の流れを提示**する。
- ③ 授業のねらいを明確にし、**子どもが分かる言葉で提示**する。
- ④ 何を考えたらいいいのか、何をしたらいいのかが**分かりやすい発問・指示**をする。
- ⑤ 「〇時△分までに～します」「〇時△分になったら、～します」と**具体的な時間を指示**する。
- ⑥ **タイマー**などを活用する。
- ⑦ **板書の仕方**を統一する。ワークシートを板書に合わせる。



三つ目は、「板書・机間指導の工夫」です。

- ① 板書計画を立てる。
- ② 板書で授業の流れが振り返ることができるようにする。
(めあてやポイント、教科書のページ数を提示する。板書とノートを一致させる。など)
- ③ 基本的なノートの書き方を示し、パターン化する。
- ④ チョークの色分けを工夫する。
(多くの色を使いすぎない。学年に応じた見やすい文字の大きさ。重要なポイントは囲いや補助線で強調する。)
- ⑤ 聞くとき、活動するとき、書くときを分ける。
- ⑥ 机間指導は、ねらいを明確にする。
(できている過程をほめる。何を見るのか、何のために回るのかねらいを決める。)
- ⑦ 小黑板、カード、ICT、プロジェクター等を活用する。
(口頭での指示を視覚化して、分かりやすくする。アップやルーズなどで見せ方の工夫をする。)



なるほど!! よくわかりました。 もう一つ、聞きたいことが...

授業のUD化のためには、3つの視点「焦点化」「視覚化」「共有化」を大切にしなければならぬと聞いているのですが...わかりやすく教えてください。

わかりました。これまでの具体的な例と合わせてお話しします。

「**焦点化**」(シンプル)とは、「ねらい」や「活動」を絞り込み、明確にすることです。(発問や活動を厳選することなど)

「**視覚化**」(ビジュアル)とは、効果的に視覚情報を使い、理解を促す方法です。(小黑板、カード、ICT、プロジェクター等を活用することなど)

「**共有化**」(シェア)とは、互いの考えを伝え合ったり、確認したりすることで全員が学びを獲得する方法です。(ペア活動やグループ活動など)

先にお話した具体例が「焦点化」「視覚化」「共有化」のどれに当てはまるのか、先生方も考えてみてください。



はい 頑張ってみます!!

さらに学び続ける教師、レオ先生であった。

【参考文献】

SSC 京都府スーパーサポートセンター 「これでスッキリ! ユニバーサルデザイン授業」

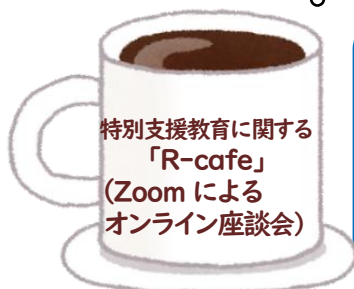
授業のユニバーサルデザイン研究会・桂聖他編著 「授業のユニバーサルデザイン Vol.7」東洋館出版社

福井県教育庁高校教育課特別支援・発達障害児グループ

「授業のユニバーサルデザイン化 特別支援教育の視点からの授業づくり」



さらに学び続ける教師、レオ先生におすすめの「R-cafe」がこちら!



第3回 R-cafe 10月19日(水) 16:15~17:00(17:00~17:15 フリートーク)
テーマ「授業のユニバーサルデザイン化について」

- ★ 学校名_お名前 (〇〇小_△△) で参加してください。
- ★ 特学担任や特コの先生方へ。ぜひ、通常学級の先生方をお誘いいただき、一緒にご参加ください。

* 第4回は、12月26日(月) 14:00~15:00(14:45~15:00 フリートーク) です。テーマなど、詳細については、特別支援教育課発行の「STEP」に掲載します。

* 気軽にどなたでも参加可能な Zoom によるオンライン座談会です。途中入室・退出 OK です。

* 特学担任や特コの先生はもちろん、教務の先生、管理職の先生...たくさんの先生方のご参加をお待ちしています。